

小学校教諭一種免許課程に係る教科目

※2026年10月時点の予定です。

【教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目		左記に対応する本学における開講科目					
科目	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	本学 カリキュラム	備 考	
日本国憲法	日本国憲法	T	奇	2	○		
体育	体育実技 A	S		1	△	体育実技 A または体育実技 B いずれか一方を含む 2 単位以上	
	体育実技 B	S		1	△		
	レクリエーション論	S		2	△		
	健康科学論	T	奇	2	△		
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	T	奇	2	△	2 単位以上	
	英語Ⅱ	T	奇	2	△		
	英語コミュニケーションⅠ	S		2	△		
	英語コミュニケーションⅡ	S		2	△		
	リスニング	L		2	△		
情報機器の操作	情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）	M		2	○		
〔教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目〕の合計単位数					8		

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目				左記に対応する本学における開講科目									
科目区分				各科目に含めることが 必要な事項	科目名	授業 方法	開 講 タ イ ム	単 位 数	カ リ ク リ ム 本 学	実 習 要 件	備 考		
第2欄	教科に関する専門的事項	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	国語	T	偶	2	5科目10単位以上	4科目8単位以上				
			社会	社会	T	奇	2						
			算数	算数	T	偶	2						
			理科	理科	T	奇	2						
			生活	生活	T	偶	2						
			図画工作	子ども美術	T	奇	2						
			家庭	家庭	T	奇	2						
			体育	子ども体育	T	偶	2						
			外国語	初等英語	T	偶	2						
			音楽	子ども音楽	T	奇	2						
				音楽実技ⅠA	S		1						
				音楽実技ⅠB	S		1						
			各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	T	偶			2	○	4科目8単位以上	各教科の指導法は、テキスト科目(T)又はテキストスクーリング科目(TS)のいずれかが選択できる。 ただし、実習要件の4科目8単位以上は、TS科目で単位修得するよう努めること。
				社会	初等社会科教育法	TS	奇			2	○		
					算数	初等算数科教育法	T			偶	2		
	理科	初等理科教育法		TS	奇	2	○						
		生活		初等生活科教育法	T	偶	2	○					
	音楽	初等音楽科教育法		TS	奇	2	○						
		図画工作		初等図画工作科教育法	T	奇	2	○					
	家庭	初等家庭科教育法		TS	奇	2	○						
		体育		初等体育科教育法	TS	奇	2	○					
	外国語	初等英語教育法		T	偶	2	○						
					TS								

次頁へ続く▶

免許法施行規則に定める科目			左記に対応する本学における開講科目						
科目区分		各科目に含めることが 必要な事項	科目名	授業 方法	開 講 タ イ ム	単 位 数	カリ キュ ラム 本 学	実 習 要 件	備 考
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	T	偶	2	○	○	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	T	偶	2	○		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	比較教育制度論	T	偶	2	○		要2科目履修
			学校安全	T	奇	2	○		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	T	奇	2	○		
			発達心理学	T	奇	2	△		
			乳幼児心理学	T	偶	2	△		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	T	偶	2	○		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	子ども教育課程論	T	偶	2	○				
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育	T	偶	2	○	○	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の指導法	T	偶	2	○		
		特別活動の指導法	特別活動	T	偶	2	○		
		教育の方法及び技術	教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)	T	偶	2	○		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法							
		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導	T	奇	2	○	○	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	T	偶	2	○				
第5欄	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導(事前・事後)(小)	S		1	○	事前のみ	
			教育実習I(小)	S		2	○		
			教育実習II(小)	S		2	○		
		教職実践演習	教職実践演習(幼・小)	S		2	○		
【教科及び教職に関する科目】の合計単位数							63		

第6欄	大学が独自に設定する科目	心理学概論 (こころの形成)	T	偶	2		※本学カリキュラムに従って単位修得する場合、「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位にて免許要件の充足が可能。
		心理学概論 (こころの理解)	T	奇	2		
		子ども臨床心理学	T	奇	2		
		子どもの心理学 (総論)	T	偶	2		
		子ども家庭福祉	T	奇	2		

・授業方法 [T:テキスト科目 / S:スクーリング科目 (対面授業) / M:スクーリング科目 (メディア授業) / L:スクーリング科目 (ライブ授業) / TS:テキストスクーリング科目] を示します。

【実習要件について】

教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(3科目)及び「教科に関する専門的事項」から4科目8単位以上、「各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)」から4科目8単位以上を修得していることと、教育実習指導 (事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。